テナント／恐怖を借りた男（1976）

THE TENANT
LE LOCATAIRE

メディア 映画
ジャンル サスペンス　ミステリー
製作国　フランス／アメリカ
時間　126分
公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

「チャイナタウン」の後、スキャンダルに疲れ再びフランスへ戻ったポランスキーが自作自演で描く異常心理サスペンスの佳作で、日本では劇場未公開のままビデオのみの封切りとなった。

古びたアパートに空き部屋を見つけたトレルコフスキー（Ｒ・ポランスキー）は、前の住人が窓から飛び降り自殺を図った事を聞かされる。彼はその女性－シモーヌを病院に見舞い、そこで彼女の友人と名乗るステラ（Ｉ・アジャーニ）と知り合う。やがてシモーヌは死に、その部屋に越してくるトレルコフスキー。部屋にはまだシモーヌの痕跡がそこかしこに見られ、壁に開いた穴の中には彼女のものと思われる一本の前歯が隠されていた。そして、向いの窓には奇妙な人物の佇む姿もあった。不安な中で始まる新生活。わずかな物音でも隣人から苦情が発せられ、口うるさい家主（Ｍ・ダグラス）と無愛想な女管理人（Ｓ・ウィンタース）もトレルコフスキーにとって脅威となっていく。やがてタバコや飲み物といったトレルコフスキー自身の嗜好も変化し、彼は周囲の人々によって自分がシモーヌに変えられていく事を感じ始めていた。被害妄想は次第に膨れ上がり、ある夜、その妄想は現実と化す……。

ストーリーだけを追うと混乱を招きかねない作品だが、随所に挿入される悪夢的なシーンと、全体に散りばめられたキーワードがその行間を埋めており、観ている間終始つきまとう不安感は次第に心地よいものとなっていく。“主演”のポランスキーはまさにハマリ役、脇を固める演技陣も充実しており見応えは充分。Ｓ・ニクヴィストによる冷ややかな映像も重要なファクターだ。

【クレジット】

監督	ロマン・ポランスキー	Roman Polanski	
製作	アンドリュー・ブラウンズバーグ	Andrew Braunsberg	
製作補	アラン・サルド	Alain Sarde	
原作	ローラン・トポール	Roland Topor	
脚本	ロマン・ポランスキー	Roman Polanski	
	ジェラール・ブラッシュ	Gerard Brach	
撮影	スヴェン・ニクヴィスト	Sven Nykvist	
編集	フランソワーズ・ボノ	Francoise Bonnot	
音楽	フィリップ・サルド	Philippe Sarde	
出演	ロマン・ポランスキー	Roman Polanski	トレルコフスキー
	イザベル・アジャーニ	Isabelle Adjani	ステラ
	メルヴィン・ダグラス	Melvyn Douglas	ズィー
	シェリー・ウィンタース	Shelley Winters	管理人
	ジョー・ヴァン・フリート	Jo Van Fleet	ディオズ夫人
	ベルナール・フレッソン	Bernard Fresson	スコープ
	リラ・ケドロヴァ	Lila Kedrova	ガデリアン夫人
	クロード・ドーファン	Claude Dauphin	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

エヴァ・イオネスコ	Eva Ionesco
ジョジアーヌ・バラスコ	Josiane Balasko
クロード・ピエプリュ	Claude Pieplu
リュファス	Rufus

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.